

おいしさを笑顔に

KIRIN

キリンによるライオンネイサン社完全子会社化について

2009年4月27日

キリンホールディングス株式会社

案件の概要と背景

ライオンネイサン概要

キリン豪州事業への影響について

参考資料

キリンはLN100%子会社化に向け、契約締結

- キリンホールディングス株式会社(以下キリン)と、46.13%の株式を保有する連結子会社であるライオンネイサン社(以下LN)の、LN社株式のうち、未保有分の全株式取得について基本合意
- 本件では「スキーム・オブ・アレンジメント」(以下スキーム)という友好的手法を採択
- 当社以外のLNの独立取締役(委員会)は、本提案内容を上回る条件での提案が無いこと及び本件がLN株主にとり最善の利益となる旨の、独立した外部専門機関による意見表明をしたレポートが交付されることを条件に、当社による株式取得を推奨することを全会一致で表明
- キリンはLN株式1株につき現金11.50豪ドルでの買付価格を提案。あわせて、LN社はキリンを含む全LN社株主に対し、税控除が認められる22セント(約15円¹)の中間配当、及び50セント(約35円¹)の特別配当を実施する予定
- 買収予定総額は100%企業価値(EV)ベースで77億豪ドル(約5,352億円¹)、EV/EBITDA(09E)マルチプルで 11.8x²
- なお、当該案件は、規制当局その他の同意をはじめとする一般的な取引条件を満たすことを前提にしている
- キリンおよびLN社は、7日以内に買収契約を締結すべく、今後、協議を進めていく

¹ 1豪ドル=69.5円(2009年4月24日現在)

² 6頁の注記1参照

キリンは本件により多くの戦略的・経済的利益を享受

- キリンはLN社の完全子会社化により、豪州における飲料・食品のリーディングカンパニーとして、アルコール飲料、乳製品、清涼飲料を含む広範な事業基盤を強化。
(キリン連結売上高への豪州からの貢献は、本案件実施前で合計で56億豪ドル¹を超える規模)
- 修正中計で発表した「質的拡大」へのシフト、ならびに、「食と健康」領域でアジア・オセアニアのリーディングカンパニーを目指す当社の長期目標(KV2015)と合致²
- 豪州ビール市場でのプレゼンス向上により、海外事業の収益基盤を強化。加えてキリンのオセアニア地域における事業展開の拡大を実現
- 豪州飲料事業における成長を下支えする事業基盤の獲得。また、多数の有カブランドを有するLNとキリンの既存ビール事業の融合により、国境を越えたブランド展開の可能性を創出
- オセアニア地域全事業に関する戦略的レビューを実施予定であり、これにより豪州及びニュージーランドにおける潜在的な成長性および事業の効率化が可能な範囲を特定。また、オセアニア地域全体にわたり、LNの高い経営ノウハウを有効活用することも可能
- 本件により海外収益基盤が強化。魅力的な経済的利益がキリンにもたらされることで、長期的には、キリングループの財務力強化に貢献すると想定

¹ キリン豪州事業売上高35億豪ドル(2008年12月期)、LN売上高21億豪ドル(2008年9月期)

² < <http://www.kirinholdings.co.jp/irinfo/policy/index.html>>, キリン・グループ・ビジョン2015: キリングループ長期経営構想

質的拡大に大きく寄与

本件は修正中計で発表した目指す成長ステージ「質的な拡大」に合致している
100%のキャッシュアクセスを可能にし、また、中長期的での収益性向上・財務強化につながる



キリンはLN株式1株につき現金11.50豪ドルでの取得を提案

- 本件により、キリンはLN株式1株につき11.50豪ドルを現金にて支払う。あわせて、当社を含む全LN社株主に対し、税控除が認められる22セント(約15円³)の中間配当及び50セント(約35円³)の特別配当を実施する予定
- 配当を除いた買収予定総額は100%企業価値(EV)ベースで77億豪ドル(約5,352億円³)、EV/EBITDA(09E)マルチプルで11.8x¹
- 本買収予定価格は、LNの成長性に鑑みてLN株主にとって公正かつ妥当な水準
 - ビール業界における過去のマルチプルと同水準
 - 過去6ヶ月のVWAP²に対し38.9%のプレミアム
- 買収に要する資金の総額は33億豪ドル(約2,294億円³)
- LN株式取得資金は、手許資金と主要取引銀行における既存の融資枠により調達する予定

¹ 6頁の注記1を参照

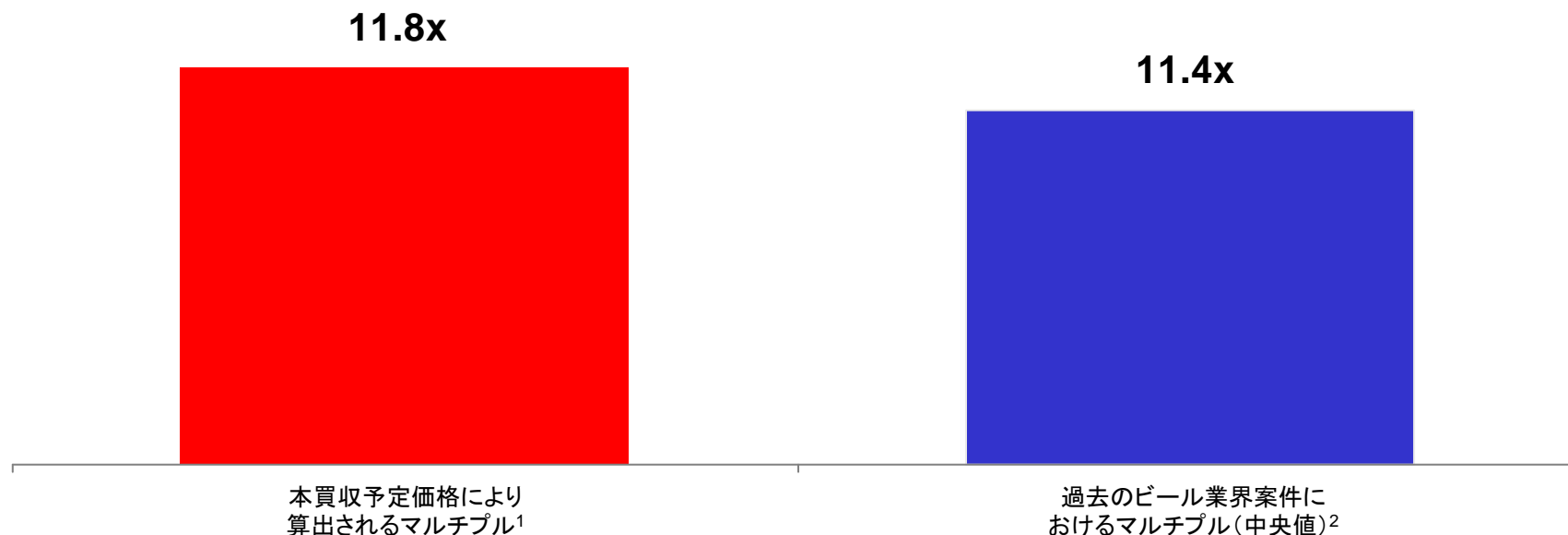
² L配当を除く現金対価に伴うプレミアム 2009年4月22日までの6ヶ月平均VWAP

³ 1豪ドル=69.5円(2009年4月24日現在)

買収予定価格(続き)

本買収予定価格により算出されるEBITDAマルチプルは、ビール業界における過去の案件と同水準にあり、LN株主に対して公正かつ妥当な価値を提供

マルチプル分析 (LTM EV/EBITDA)



- ¹ 本買収予定価格(一株当たりA\$11.50)を基に算出。LN企業価値(EV)は発行済株式534.2百万株、調整後純有利子負債A\$1,602.5m(少数株主持分簿価A\$0.4m、及び持分法適用関連会社株式A\$27.1m)について調整、2008年9月末時点)を基に算出。スキーム実施予定時期に鑑みて、LN 2009年9月期予想EBITDA(A\$656m)ベース。算出には2009年2月19日から2009年3月24日(本提案発表前)の間で発行された一般に入手可能な8名のアナリスト予想の中央値を使用(レンジはA\$633~A\$678)。使用したアナリスト予想には、ドイツ銀行AG及びJ.P.モルガンにおける、独立した調査部門の発行するものも含まれる。キリン取締役会はこれら予想値を採用していない
- ² 1999年10月から2009年2月のビール業界案件、36件を抽出(案件規模のレンジはA\$325m~A\$53,334m、マルチプルのレンジはEV/LTM EBITDAで 3.7x~18.9x)

キリン連結決算への影響

本件により、初年度からキリンのEPSは大幅に増加(のれん償却前)

EPS	<ul style="list-style-type: none">■ EPSは本件実施後の初年度から大幅に増加(本件のれん償却前)
のれん	<ul style="list-style-type: none">■ のれん償却期間は 20年間■ ⇒ 本件によるのれんは約31.9億豪ドル, (約2,200億円¹)■ ⇒ 本件による年間ののれん償却費は約1.6億ドル, (約110億円¹)■ 既存ののれん償却費(100億円)と合わせたのれん償却費は年間約210億円■ 本件によるのれん償却費は暫定的なものであり、今後変更される可能性あり
キャッシュフロー	<ul style="list-style-type: none">■ 配当総額の内 46%受け取り(目標配当性向80%) → 純利益 100% 取り込み■ LNキャッシュフローへのフルアクセス■ キリンのキャッシュフローは大幅に改善
レバレッジ	<ul style="list-style-type: none">■ 短期的には有利子負債が増加するものの、LNの潤沢なキャッシュフローにより、早期の買収資金返済が可能■ D/Eレシオは修正中期経営計画において示した範囲内に収まるものと想定²

注: 本ページ記載の数値は初期的な試算に基づくものであり、最終的な影響額は現時点で確定していない

¹ 1豪ドル=69.5円(2009年4月24日現在)

² < <http://www.kirinholdings.co.jp/irinfo/policy/index.html>>, 2009年 キリングループ事業方針について参照。買収に伴い一時的には1.0xに増加することを許容

案件の概要と背景

ライオンネイサン概要

キリン豪州事業への影響について

参考資料

強力なLNビールブランド・ポートフォリオ

LNはビールおよびワインの各カテゴリーにおいて、強力なブランド・ポートフォリオを保有

LN主要ブランド				
全国展開ブランド (Power Brand)				
プレミアムブランド ¹				
地域ブランド (Speciality Brand)				
プレミアムワイン				

¹ ライセンスブランド

LN製造拠点

LNは豪州及びニュージーランドにおいて多数のビール製造拠点を所有



LN株主リターン

キリンによる1998年の初期投資以来、LNは10.2%の株主リターンを実現

ライオンネイサンの株主リターン (1998年4月28日～ 2009年4月22日)

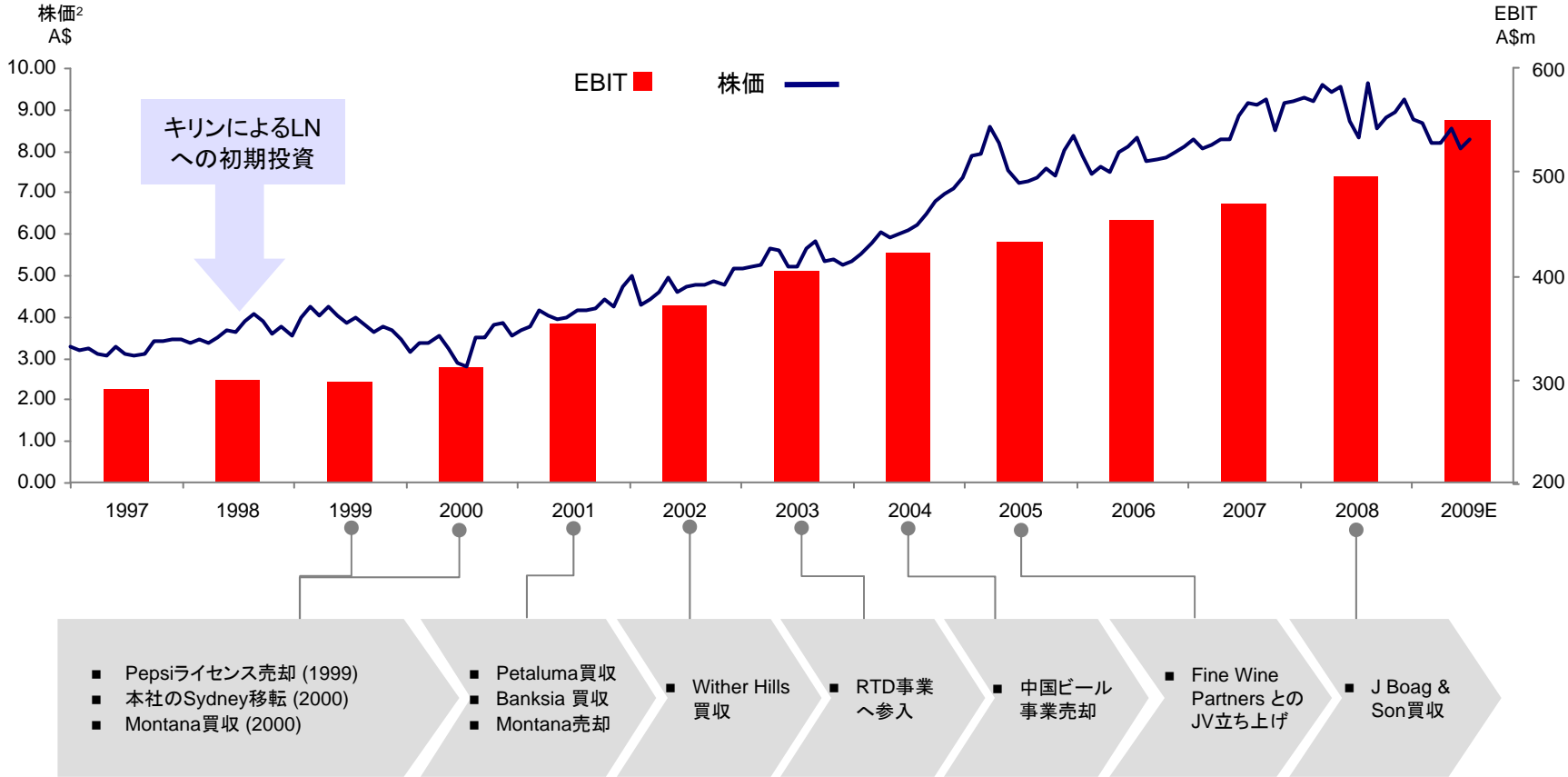


出所: IRESS(2009年4月22日時点)

注: 株主リターンは株価パフォーマンス及び配当金により算出。配当金は支払日終値に再投資されるものと想定

LN株価及びEBITの推移

LNのEBIT¹は対前年比ベースで堅調に推移



¹ LNアニュアルレポート記載のEBIT (のれん償却及び特別項目控除前)。
1999年～2008年については2008年アニュアルレポート、1997年、1998年については2006年アニュアルレポートより引用

² LN株価はIRESSより引用。(1996年8月31日～2009年4月22日), between 31 August 1996 to 22 April 2009

³ LN 2009年9月期予想EBITDA(A\$656m)ベース。2009年2月19日から2009年3月24日(本提案発表前)の間で発行された一般に入手可能な8名のアナリスト予想の中央値を使用(レンジはA\$633～A\$678)。使用したアナリスト予想には、ドイツ銀行AG及びJ.P.モルガンにおける、独立した調査部門の発行するものも含まれる。キリン取締役会はこれら予想値を採用していない

案件の概要と背景

ライオンネイサン概要

キリン豪州事業への影響について

参考資料

キリンは豪州最大規模の飲料食品企業グループ

National Foods/Dairy Farmers

乳製品及び果汁飲料
において豪州第1位¹

FY2008²

売上高: A\$3,509mm

営業利益: A\$129mm



KIRIN

グループオセアニア事業

売上高: A\$5,603mm

営業利益: A\$ 636mm

Lion Nathan

アルコール飲料
において豪州¹第2位

FY2008³

売上高: A\$2,094mm

営業利益: A\$507mm



¹ スライド18参照

² NFL: KH2008年度決算説明資料(2009年2月10日付)より

DF: 「デアリーファーマーズ社 全株式売買契約合意について」(2008年8月25日付)より

³ 2008年LNアニュアルレポートより

豪州事業の拡大(続き)

拡大するキリンの豪州事業ポートフォリオは、さまざまなステークホルダーに利益を提供

キリン株主	<ul style="list-style-type: none">■ EPSは本件実施後の初年度から大幅増加¹■ 収益基盤の地域多角化■ キリンの他の豪州事業との協働により、アジア・オセアニアの飲料事業拡大のプラットフォーム構築■ LNの潤沢なキャッシュフローへのフルアクセス
消費者	<ul style="list-style-type: none">■ 消費者ニーズの把握精度向上■ より積極的なマーケティング/プロモーション活動■ さまざまな商品や事業間におけるイノベーションの共有
従業員	<ul style="list-style-type: none">■ キリングループの広範な事業展開により、グループ内異動による活躍の場は増大■ 企業文化の融合、多様化■ ノウハウの共有

¹ のれん償却前ベース

Contents

案件の概要と背景

ライオンネイサン概要

キリン豪州事業への影響について

参考資料

ライオンネイサン概要

会社概要	
会社名	Lion Nathan Limited
本社	豪州、ニューサウスウェールズ州、シドニー市
CEO	ロブ・マーレー
資本金 ²	純資産: 8.7億豪ドル (約605億円) ¹ 総資産: 31.9億豪ドル(約2,217億円) ¹
主要財務数値 ³	売上高: 20.9億豪ドル(約1,453億円) ¹ 営業利益: 5.1億豪ドル(約354億円) ¹
従業員数 ⁴	約3,100名
事業概要	豪州における第2位、ニュージーランドにおける第1位のビール会社。ビールを始め、ワイン、スピリッツ類で多数のブランドを展開(スピリッツ類はBacardi-LionとのJV)
主要ブランド	ビール: トゥーヒーズ(Tooheys)、フォーエックス(XXXX)、ハーン(Hahn)、 ボーク(Boags)、スタインラガー(Steinlager)、スパイツ(Speights) ワイン: Petaluma、Wither Hills、St Hallet
主要製造拠点 ⁵	計9工場

出所: 2008年 LNアニュアルレポート、IRESS

¹ 1豪ドル=69.5円(2009年4月24日現在)

² 2008年9月末時点

³ 2008年9月末時点における直近12ヶ月間

⁴ 2008年9月末時点で3,071

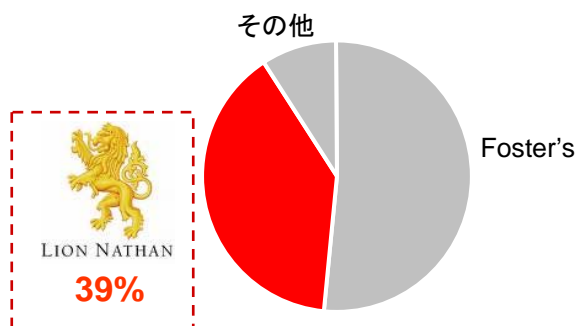
⁵ ワイナリー及びボトリング設備を除く

LNの主要カテゴリーにおける市場ポジション

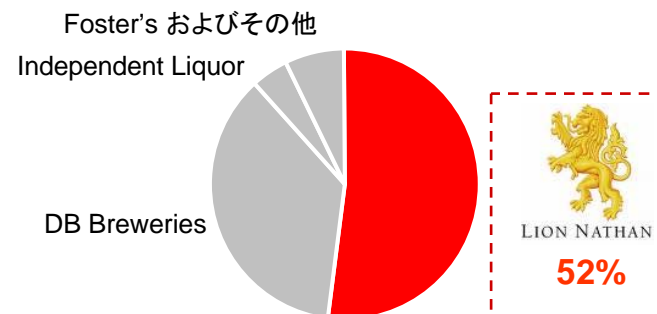
キリンは飲料市場の主要カテゴリーにおいて優位な市場ポジションを獲得

市場ポジション

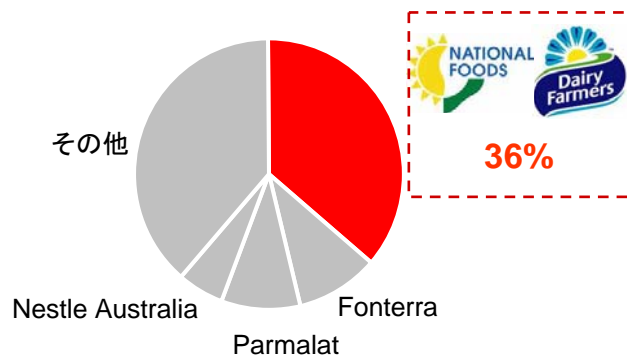
ビール - 豪州¹



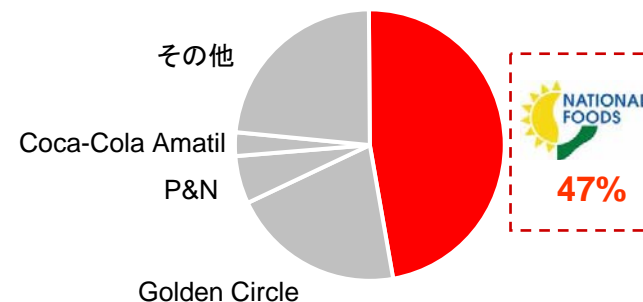
ビール - ニュージーランド¹



乳製品 - 豪州²



果汁飲料 - 豪州³



出所: Euromonitor International 2009

¹ ビール・ナショナルブランド保有企業のシェア(2007販売量ベース)

² 乳製品・ナショナルブランド保有企業のシェア(2007年小売店販売額ベース)。乳製品は牛乳、チーズ、ヨーグルト、乳酸飲料、その他の乳製品により構成。プライベートブランドはその他に含まれる

³ 果汁/野菜清涼飲料・ナショナルブランド保有企業のシェア (2008年オフ・トレード販売額ベース)

おいしさを笑顔に

KIRIN

この資料は投資判断の参考となる情報の提供を目的としたものであり、投資勧誘を目的としたものではありません。
銘柄の選択、投資の最終決定は、ご自身の判断でなさるようお願いいたします。

**This material is intended for informational purposes only and is not a solicitation
or offer to buy or sell securities or related financial instruments.**